

生活環境影響調査事後調査計画(土地又は工作物の存在及び供用時) (案)

1.発生源調査

項目	細項目	調査項目	調査地点	調査方法	調査時期	スケジュール				参考:施設運営上の法定及び任意測定				
						H28.10月 ~12月	H29.1月 ~3月	H29.4月 ~6月	H29.7月 ~9月	長期包括運営:施設稼働に係る計測項目(環境保全計画)				
施設計画確認調査		施設計画、環境保全計画の内容	—	施設計画、環境保全計画の内容の把握・集計による方法	施設が定期的に稼働している時期	○								
発生源強度確認調査	ばい煙調査	硫酸化物、浮遊粒状物質(ばいじん)、窒素酸化物、塩化水素、ダイオキシン類	煙突(各炉)	大気汚染防止法、ダイオキシン類対策特別措置法等に基づく調査結果により把握する。(→長期包括運営事業者が実施する環境保全に係る計測結果を整理する。)	施設が定期的に稼働している時期(1年間)	○ ※計測結果の収集	○ ※計測結果の収集	○ ※計測結果の収集	○ ※計測結果の収集、整理	硫酸化物 ばいじん 窒素酸化物 塩化水素 ダイオキシン類	煙突(各炉)	4回/年	うち法定ダイオキシン類は1回/年 それ以外は、2回/年	
	施設稼働騒音、低周波音	騒音レベル、低周波音	敷地境界の1地点	「特定工場等において発生する騒音の規制に関する基準」及び「低周波音の測定方法に関するマニュアル」に定める方法	施設が定期的に稼働している時期(1日(24h))	○				騒音	敷地境界2箇所	2回/年	任意測定	
	施設稼働振動	振動レベル	敷地境界の1地点	「特定工場等において発生する振動の規制に関する基準」に定める方法	施設が定期的に稼働している時期(1日(24h))	○				振動	敷地境界2箇所	2回/年	任意測定	
	施設からの悪臭	臭気指数	敷地境界風上、風下の2地点及び煙突(各炉)	「特定悪臭物質の測定の方法」及び「臭気指数及び臭気排出強度の算定の方法」に定める方法	施設が定期的に稼働している時期(1日(1回))				○	悪臭	敷地境界2箇所及び山、煙突(各炉)	2回/年	任意測定	

2.環境調査

項目	細項目	調査項目	調査地点	調査方法	調査時期	スケジュール				参考:施設運営上の周辺環境保全の任意測定				
						H28.10月 ~12月	H29.1月 ~3月	H29.4月 ~6月	H29.7月 ~9月					
大気質	廃棄物運搬車両排ガス	浮遊粒状物質、二酸化窒素、交通量	走行ルート1地点	「大気の汚染に係る環境基準について」に定める方法	廃棄物運搬車両の走行が代表的な時期(1回:1週間)	○								
	煙突からの排出ガス(環境大気質)	二酸化硫黄、浮遊粒状物質、二酸化窒素、塩化水素、ダイオキシン類	周辺3地点	「大気の汚染に係る環境基準について」、「大気汚染物質測定法指針」、「有害大気汚染物質測定マニュアル」、「ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル」に定める方法	施設が定期的に稼働している時期(稼働後1年(4回/年)、1回:1週間)	○	○	○	○					
騒音	廃棄物運搬車両騒音	騒音レベル・交通量	走行ルート1地点	「騒音に係る環境基準について」等に定める方法 カウンター計測等による方法 収集運搬計画等の把握・廃棄物運搬車両台数の集計による方法	廃棄物運搬車両の走行が代表的な時期(1回(6:00~18:00))	○								
振動	廃棄物運搬車両振動	振動レベル・交通量	走行ルート1地点	「振動規制法施行規則」別表第2に定める方法 カウンター計測等による方法 収集運搬計画等の把握・廃棄物運搬車両台数の集計による方法	廃棄物運搬車両の走行が代表的な時期(1回(6:00~18:00))	○								
水象	河川流量		天神川1地点	水質調査方法(昭和46年環境水管第30号)に規定する方法	施設が定期的に稼働している時期(稼働後1年(4回/年))	○	○	○	○					
水質	河川水質	ダイオキシン類	光善寺川 天神川 3地点	日本工業規格(JIS)に規定する方法	施設が定期的に稼働している時期(稼働後1年(4回/年))	○	○	○	○	環境モニタリング調査:水質中ダイオキシン類	稲荷川~稲荷川・光善寺川合流地点	調査地点6地点のうち5地点(1地点各1検体)	任意測定(現センター底質ダイオキシン類対策)	
底質	河川底質	ダイオキシン類		日本工業規格(JIS)に規定する方法	施設が定期的に稼働している時期(稼働後1年(4回/年))	○	○	○	○	環境モニタリング調査:底質中ダイオキシン類	稲荷川~稲荷川・光善寺川合流地点	調査地点6地点のうち4地点(1地点各1検体)	任意測定(現センター底質ダイオキシン類対策)	
地下水	地下水水位		2地点	地下水水位計による	常時観測(1年間)	○	○	○	○					
景観	主要な眺望景観の変化の程度	主要眺望地点景観	9地点	写真撮影による方法	施設が定期的に稼働している時期(1回)	○								
地球環境	温室効果ガスの発生量	廃棄物処理量及び種類、電気及び燃料の使用量	—	運転記録、稼働記録の把握、集計による方法	施設が定期的に稼働している時期(1年間)	○ ※運転記録等の収集	○ ※運転記録等の収集	○ ※運転記録等の収集	○ ※運転記録等の収集、集計					

※調査地点は、生活環境影響調査実施時と同じ地点とします。